

事業の背景・目的

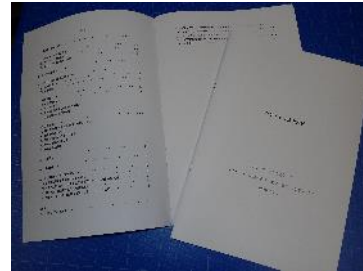
野外での繁殖推進によってコウノトリの野外個体数を増加させ、国内各地に繁殖地を形成することでコウノトリの日本産個体群を復活させることを目指し、野外繁殖ペアが形成されている京都府京丹後市、徳島県鳴門市、及び福井県越前市・坂井市の各地域において、繁殖地を安定的に維持しながらコウノトリと共生する地域社会づくりを進めていくとともに、今後国内各地にその活動を広げていくことを目的として、以下の二つの事業を実施した。



事業の内容

事業① コウノトリ保全計画策定事業

今後国内各地にコウノトリの繁殖地が広がった際のコウノトリ保全に関する活動の指針となる「コウノトリ保全計画」として、「コウノトリ保全方針」を策定し、関係機関（関係省庁、全国の都道府県の文化財主管部局及び自然保護主管部局等）に送付した。



コウノトリ保全方針の冊子

事業② コウノトリ繁殖状況調査事業

新たに巣づくりが確認された自治体においてもコウノトリの営巣、産卵、孵化などの繁殖状況を効果的・効率的にモニタリングすることができる観察システムを構築した。コウノトリの繁殖状況調査を実施した（繁殖期は4月以降も継続されるため、3月中に可能なところまで）。



ソーラーパネル駆動式の営巣地モニタリングシステム

得られた成果

2020年の繁殖期においては、新たに、栃木県小山市、千葉県銚子市、京都府綾部市において、新たにコウノトリの造巣行動が確認されている。これらの地域を含め今後各地でコウノトリの造巣が認められた場合には、今回の事業で策定した「コウノトリ保全方針」を参考にしながら、コウノトリの保全が図られていくことが期待される。

また、今回の事業で構築したコウノトリの産卵日を推定するための観察システム、コウノトリの孵化日を推定するための観察システムを用いて、新たに繁殖地となった自治体においてもコウノトリの繁殖状況の調査が行われ、コウノトリの全国的な個体群管理が図られていることが期待される。